

南座 1-2 月公演
イマーシブシアター『サクラヒメ』 ～『桜姫東文章』より～
製作発表レポート



2020 年 1 月 24 日（金）より 2 月 4 日（火）まで、南座では、イマーシブシアター『サクラヒメ』～『桜姫東文章』より～ が上演されます。日本の大劇場では初のイマーシブシアター公演で、多彩なジャンルのトップパフォーマーたちが集結し、新たな演劇公演を創り上げます。公演に先駆け、製作発表が行われ、出演者が意気込みを語りました。



▼サクラヒメ役・純矢ちとせ

新しい自分を魅せ、宝塚で培ってきたものを南座でも発揮できたらいいなと思います。新しいことだらけの舞台で、初日を迎えてからも自分の中で新しいものを見つけられるのではないかと考えております。

▼陰陽師役・川原一馬

初挑戦のイマーシブシアターで、お客様と演者がとても近い距離で、面白い出来事が起こったり、僕たちがお客様にアプローチしたりできることを楽しみにしております。陰陽師としてのタップダンスパフォーマンスをぜひ見ていただけたら嬉しいです。



▼浪人役・荒木健太郎

皆さんいろんな素晴らしいパフォーマンスをやっていただく中で、僕は自身は日本独特の美しさがある“刀”を扱います。京都という場所なので、日本人だけでなく海外の方もいらっしゃると思います。「日本人がめちゃくちゃ面白いことやってる」とアピールできたらすごく素晴らしい公演になると思います。

▼義賊役・世界 (EXILE / FANTASTICS from EXILE TRIBE)

普段 EXILE の活動ではドームなどの大きなステージに立たせていただく機会が多いのですが、今回のイマーシブシアターではその空間にいるみなさんで作品を作り、近い距離でしか味わえないパフォーマンス、指先一つの細かい所作まで見ていただけると思うので、楽しみにしています。





▼鳶役・平野泰新 (MAG!C☆PRINCE)

10 年間やってきた新体操で培った表現力やアクロバットを舞台にしっかり活かして、皆様を楽しませることができるよう頑張りたいです。僕にしか演じることのできない表現を魅力としてしっかりとやっていきたいと思います。

▼町医者役・Toyotaka (Beat Buddy Boi)

ストリートダンスを 16 年間やってきて、アメリカのヒップホップの影響を受けましたが、日本人として表現するストリートダンスを考えてきました。歴史あるス南座のステージで、誇りを持って踊ることができるのを嬉しく思います。全方向に大爆発させたいと思います。





▼盗賊役・高田秀文 (DAZZLE)

DAZZLE は日本ではじめてイマーシブシアターを製作し、そして牽引してきました。僕自身、この中では1番イマーシブシアターを経験しておりますので、皆さんを引っ張っていかれたと思います。サクラヒメは5人のうちから選ばれますけども、自分が選ばれるような気持ちで頑張りたいと思います。

▼雲上の導者役・新里宏太

雲上ということで、2階・3階エリアのお客様と近い距離で過ごすことが多いのではないかと思います。普段は歌手として活動させていただいているので、歌唱披露場面にも注目していただけたら嬉しいです。

サクラヒメに選ばれる権限はありませんが、間違って選ばれるく



イマーシブシアターとは、体験型演劇作品の総称。客席体験型の公演で、従来の「物語を鑑賞する」スタイルの演劇ではなく、観客の意思で物語に入り、演者と同じ空間に参加し、観客自身が物語の一部となったり（1階エリア）、物語の結末を左右する役割を担う（2・3階エリア）ことができます。

会見では本公演の物語の結末が観客の投票によって決まるマルチエンディングシステムであることにちなみ、報道関係者の採決（投票）により、5人のキャスト自らが考案したポーズで、フォトセッションのラストカットを決定！接戦の末、選ばれたのは世界のポーズでした。



選ばれた世界のポーズをする 左から、新里宏太、Toyotaka、世界、川原一馬、純矢ちとせ、荒木健太郎、平野泰新、高田秀文

公演は2020年1月24日（金）初日、2月4日（火）千穉楽でございます。

多彩なジャンルのトップパフォーマーたちが満を持して南座に集結いたします！

新たな形の演劇公演にご期待ください！